

第59回 埼玉県保育研究大会 開催要綱

1 主 題

「すべての子どもの権利と育ちを 保障していく社会の実現」をめざして

2 趣 旨

保育を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、昨今の子ども、子育て家庭に関わる状況等により、大きく変わろうとしています。

子どもたちを取り巻く環境も大きく変化をしており、家族機能の低下、子どもの貧困、児童虐待等々、枚挙にいとまがありません。そしてそれらは、保育現場にとって子どもへの対応だけでは不十分であり、保護者への対応と支援のためのスキルアップも求められています。

令和3年に国に設置された「地域における保育所・保育士の在り方に関する検討会」での議論や令和6年度施行の改正児童福祉法等において、保育所・認定こども園等は、多様な保育・子育てニーズへの対応、地域の身近な相談機関として子育て支援機能の発揮や保育に関する情報発信など、地域における保育の総合的な拠点として「多機能化」していく方向性が示されました。

国では令和5年4月に「こども家庭庁」が発足し、「こども基本法」が施行、令和6年度には改正児童福祉法も施行されます。「こどもまんなか社会」の実現に向け、期待も大きくある一方で、保育所・認定こども園等が担っていく機能・役割の更なる変化も想定されます。

このような中で、保育所・認定こども園等は、各々の特色を大切にしつつ、関係機関等との連携のもと、等しく質の高い保育の実践とともにその専門性を地域で活かしていくことが求められます。そのため保育関係者は、様々な制度動向や求められる役割・責務を適切に理解し、養護と教育の実践のもと、これまで培ってきた保育の営みの大切さを広く社会と共有し、実現していく必要があります。

本大会は、こうした保育をめぐる情勢をふまえ、全ての子どもの最善の利益の保障に向け、テーマごとに保育の社会的意義と役割、保育実践などについて議論を深め、今後の保育の質・専門性の向上に寄与することを目的に開催します。

3 主 催

埼玉県 川越市

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 埼玉県保育協議会 埼玉県保育士会

4 後 援

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

5 期 日

令和5年5月26日（金）

6 会 場

ウエスタ川越 ※会場案内図参照

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

電話：049-249-3777

7 参加者

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 公私立保育所(園)長 | (4) 保護者会関係者 |
| (2) 市町村保育行政担当者 | (5) 保育士養成機関関係者 |
| (3) 保育士、その他の職員 | (6) 学校教育関係者 |

8 日程

- | | |
|-------|---------------|
| 9:10 | 受付開始(各分科会場ごと) |
| 9:30 | 分科会 開会 |
| | ↓ |
| 12:20 | 分科会 閉会 |
| | ※ 昼食・移動 |
| 13:30 | 全体会 開会 |
| 13:45 | 式典 |
| | ※永年勤続者表彰 ほか |
| 14:30 | 記念講演 |
| | ↓ |
| 15:30 | 全体会 閉会 |

○保育実践パネル展示

○保育関係業者ブース

※全体会場ホワイエにて

9 内容

(1) 記念講演

講師：大友 剛 氏

テーマ：『マジックと音楽と絵本の世界 ～子どもの世界を彩る3つの魔法～』

＊ 講師プロフィール ＊

ミュージシャン&マジシャン&翻訳家。自由の森学園卒業後、アメリカネバダ州立大学で音楽と教育を学ぶ。卒業後、フリースクールのスタッフとして不登校、引きこもりの若者と共同生活をする傍ら、音楽事務所で作編曲、演奏、CM制作を手掛ける。2005年よりフリー。「音楽とマジックと絵本のコンサート」で活動。翻訳絵本に「ねこのピート シリーズ」(ひさかたチャイルド)、「えがないえほん」(早川書房)。東日本大震災後、被災地に音楽とマジックを届けるプロジェクトを設立、全国の被災地で展開。子どもの自殺のない社会を目指し、保育、教育の垣根を超えて、対話する場を作っている。



(2) 分科会 討議

第1分科会 新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

意見発表者：リトル花保育園（加須市） 園長 鈴木 一平 氏
助言者：埼玉純真短期大学 こども学科 准教授 花島 慶子 氏

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されます。また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

第2分科会 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

意見発表者：ゆうゆうくじら保育園（上尾市）理事長／園長 本田 直子 氏
助言者：国際学院埼玉短期大学 学長特別補佐 櫻井 康博 氏

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

第3分科会 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

意見発表者：みどり保育園（本庄市） 副主任 戸鎖 宏美 氏
助言者：社会福祉法人 若草福祉会 / 新宿区大久保わかさ子ども園
理事長／園長 福島 正晃 氏

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

特別分科会 わらべうた～保育者と保護者とともに子どもに届けるわらべうた～

講 師：わらしべ第二保育園 保育士 宇野 由美子 氏

日々の保育の中で、保育者がピアノや楽器を使わなくても子どもたちと遊ぶことができるのがわらべうたです。

保育者のあたたかい生の声で子どもに語り、歌い、そして触れ合うわらべうた遊びを、宇野由美子先生の優しい声に癒されながら一緒に学んでいきたいと思えます。

*当日は人形を使つての演習がありますので、定員30名とさせていただきます。

10 参加費（資料代等）

会 員…1人 2,000円 / 非会員…1人 4,000円

学 生…無料（学生証の提示を求める場合があります。）

※参加に要する旅費等は、派遣者において負担願います。

※昼食の斡旋はありません。各自で御用意くださるようお願いいたします。



11 参加申込み方法

(1) 申込受付期間：令和5年4月5日（水）午前9時～4月28日（金）午後5時

(2) 下記の申込サイトからお申込み手続きをお願いします。

※本サイトは主催者が取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する業者で作成されたページです。

申込サイトURL <http://www.mwt-mice.com/events/saitama-hoiku59>

※埼玉県保育協議会ホームページ（下記URL）

<https://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama13/shubetsu/page3.html>

に掲載する「第59回埼玉県保育研究大会申込み」バナーからもお入りいただけます。

(3) 申込内容入力完了後、登録されたメールアドレス宛に自動の「申込受付完了メール」が届きます。「申込完了メール」が届かない場合、迷惑メールフォルダに未着なことを御確認の上、名鉄観光サービスまで必ず御連絡してください。

(4) 請求書は郵送いたしますので、期限までにお振込みをお願いいたします。入金後の返金はできかねますので、予め御了承ください。振込期日：令和5年5月19日（金）

(5) 参加券は、ご登録頂いたWEBサイトより申込確認書を印刷し、当日必ずご持参ください。申込単位の各施設様で1枚の確認書となります。

12 お問い合わせ先

(1) 開催内容について

埼玉県保育協議会事務局（埼玉県社会福祉協議会 施設業務課 伊藤）

〒330-8529 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65

電話：048-822-1191 FAX：048-822-3078

E-Mail itou@fukushi-saitama.or.jp

(2) 参加申込について

名鉄観光サービス株式会社 さいたま支店

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 大同生命さいたま大宮ビル13階

電話048-641-5388 FAX048-641-5287 担当者 高岡・須永

会場案内図

JR川越線、東武東上線「川越駅」西口徒歩約5分／西武新宿線「本川越駅」徒歩約15分
※駐車場（有料）は数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

